

平成25年度 事務事業マネジメントシート

事業名	防災管理事業			会計	款	項目	大	小
				01	09	01	05	02
政策	02	2節	生活の豊かさを実感できる流山（生活環境の整備）	主管課	防災危機管理課			
施策	2-3	自然災害・都市災害への備えと予防		主管課長	山崎 英彦			

I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	防災用資機材	意図	市民等に情報を連絡するための手段を維持管理するほか、災害対策のために必要な情報の入手などの業務を実施する。
事業内容	防災行政無線やMCA無線機の保守点検、維持管理、防災気象情報の業務委託などを実施する。			
事業開始から現在までの状況変化	情報伝達手段として従来からある防災行政無線に加えて、平成24年度から25年度にかけて、新たな通信手段としてMCA無線機を導入した。			

II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成23年度	平成24年度	平成25年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）
		①	防災行政無線維持管理箇所	76	78	78	箇所
②	防災行政無線デジタル無線（MCA無線）維持管理箇所		55	100	箇所	→→	
③							
④							
指標で表すことができない定性的な成果							目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況） 機器の種類や数が増えたこと、また導入から時間が経過しているものが増えていることから、維持管理に要する事務、作業量が増大している。
事務事業のコスト		平成23年度	平成24年度	平成25年度			
事務事業の総コスト(a=b+c)		29,953,071	15,888,489	18,926,715			
事業費(b)(円)		14,801,071	12,299,489	14,592,215			
うち一般財源		14,801,071	12,299,489	14,592,215			
職員給与費(c)(円)		15,152,000	3,589,000	4,334,500			
人役・職員(人)		2.00	0.50	0.50			
人役・再任用(人)							
人役・臨職(人)				0.50			
人役・嘱託(人)							
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）							
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）							

III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	A 必要性が高まると考えられる	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	III 要改善（事業は継続するが、更なる改善が必要）					

(2) 事務事業の業務改善について

①今年度(H25)の改善計画	市の防災行政推進を目的とし、緊急時の情報伝達手段を確保するため、必要な機器の保守点検を実施する。	③取り組みの課題	防災行政無線や情報伝達に係る通信機器や、災害用井戸などの維持管理の効率化が必要である。
②今年度(H25)に実施した取り組み	防災行政無線子局のバッテリーを随時交換したほか、故障が発生した災害用井戸の修繕等を実施した。	④今後の改善計画	機器の適切で効率的な維持管理の方法を検討していく。